

「勝山中学校・鶴橋中学校 学校整備計画(案)」説明会でいただいた
主なご意見・ご質問とその回答

(1) 教育内容について -----

- Q 1. 中学校 3 年生という受験の時期に、学校再編を迎える生徒に対する配慮は考えているか。また、受験生に限らず、学校再編によって環境が大きく変わるのには生徒の負担になることから、教員配置については配慮がほしい。
- A 1. 学校の再編に伴う生徒の心理的負担を軽減するため、移行に向けての準備として、合同行事等、両中学校の生徒間交流や、教員間研修の実施を検討してまいります。また、新たな学校の教員の配置についても、両校のバランスを配慮します。1 クラスあたりの生徒数については、大阪市全体のルールがあるので、1 クラスあたり 40 名という基準を変更することはできませんが、再編による生徒の不安を緩和するため、学校に配置される教員の数について、検討してまいります。

(2) 跡地の活用について -----

- Q 2. 鶴橋中学校の運動場について、勝山中学校区内と鶴橋中学校区内の小学校が再編されるまでの暫定的な活用のようなのだが、仮に小学校が再編されたら、鶴橋中学校の跡地はどうなるのか。
- A 2. 生野区の小学校跡地は、地域の災害時避難所であることもあり、売却せずに残した上で、その活用方法を議論していく予定です。しかし、鶴橋中学校につきましては、小学校の再編の議論がまとまれば、大阪市の未利用地活用方針に則って、売却手続きをいたします。

(3) その他 -----

- Q 3. 新たな中学校でも、近くの小学校で作った給食を食べることはできるか。
- A 3. はい、できます。今後の生徒数の推移を元に、勝山中学校に隣接している東桃谷小学校の給食調理室で、新たな中学校の分の給食も調理できると試算しています。仮に、生徒数が急激に増えるようなことがあった場合でも、近隣の小学校で一部を調理するなど、給食を提供できる環境を整えていきます。
- Q 4. 在学途中の学校再編で標準服(制服)等が変わったら、その買い替え費用は保護者負担になるか。
- A 4. 学校再編に伴って標準服等のデザインが変更になる場合、在校生分の費用については、大阪市(教育委員会)が経費負担をいたします。ただし、新たな学校の開校年度に入学する生徒(開校年度に新 1 年生となる生徒)の費用については、保護者の負担となります。